災害時における歯科医療救護活動

資料　4－4

		フェーズ0 発災直後（発災～6時間）	フェーズ1 超急性期（～72時間）	フェーズ2 急性期（～1週間程度）	フェーズ3 亜急性期（～1か月程度）	フェーズ4 慢性期（～3か月程度）	フェーズ5 中長期（3か月程度～）
東京都地域防災計画	医療救護活動におけるフェーズ区分	建物の倒壊や火災等の発生により傷病者が多数発生し、救出救助活動が開始される状況	救助された多数の傷病者が医療機関に搬送されるが、ライフラインや交通機関が途絶し、被災地外からの人的・物的支援の受入れが少ない状況	被害状況が少しずつ把握でき、ライフライン等が復活し始めて、人的・物的支援の体制が確立されている状況	地域医療やライフライン機能、交通機関等が徐々に回復している状況	避難生活が長期化しているが、ほぼ復活して、地域の医療機関や薬局が徐々に再開している状況	医療救護所がほぼ閉鎖されて、通常診療がほぼ回復している状況
	主な医療救護活動	被害情報の収集・集約					
		東京DMATの出場					
		緊急医療救護所の運営					
		傷病者等の被災地域外への搬送					
		都医療救護班等の被災地域への派遣					
		他県DMATによる病院支援					
		医療救護所の運営					
		医薬品の供給					
		他県医療救護班の受入れ					
		避難者の定点・巡回診療					
医療ニーズ		外傷治療・救命救急のニーズ			慢性疾患治療・被災者の健康管理等		
歯科医療救護活動（災害の規模、形態、発生場所、発生時期により対応が異なる）		被害情報の収集・集約					
		歯科医療ニーズの把握					
		応急的な外傷治療		応急的な歯科治療			
		口腔衛生対策（高齢者・障害者・糖尿病患者など）					
		災害関連疾病予防対策					
		身元確認作業					